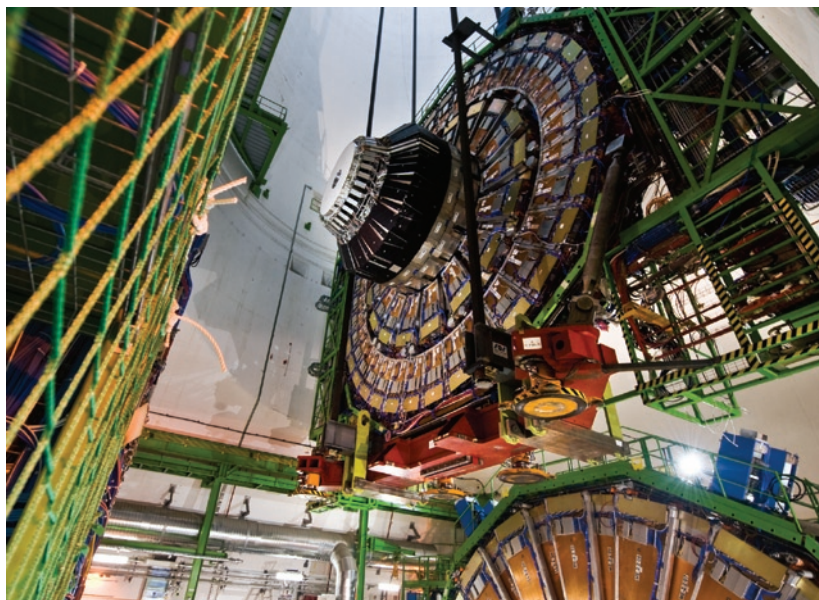


SNAPSHOT

Search for Higgs primed to start

ヒッグス粒子の探索に取りかかる準備

Nature Vol.451(507) / 31 January 2008



ヨーロッパの粒子物理学研究機関 CERN（スイス、ジュネーブ）で、コンパクトミュオンソレノイド（CMS）検出器の最後の部品が所定の位置へと静かに下ろされている。この検出器は、CERNの次世代型粒子加速器「大ハドロン衝突器」で起こるプロトンの高エネルギー衝突の中に「標準モデル」を超える物理学を見つけ出そうとしている。

1月22日、1430トンもある検出器の最後の部品が、地下100メートルにある空間で設置された。現地では、研究者たちがそれをほかの14個の部品と組み合わせて検出器を完成させる。CMSは、ほかのすべての粒子に質量を与えると考えられている「ヒッグス粒子」の探索を導くのに役立つと考えられている。順調であれば、今年の後半には最初のデータが取れる予定である。 ■

Geoff Brumfiel

CERN